



# 信楽学園 ニュースレター

## Newsletter from Shigaraki Gakuen



Vol. 2  
2015



### CONTENTS

Page 1

#### ■ ごあいさつ

- ・「継続は力」

信楽学園園長 後藤 富夫

Page 2

#### ■ 学園レポート

- ・「1・2年園生の社会見学」
- ・「朝日寮はこんなところ」

#### ■ イベントレポート

- ・「セラミックアートマーケット  
in 陶芸の森」

#### ■ 学園フレッシュさん

Page 3

#### ■ 地域の皆様から

- ・「信楽学園の汽車土瓶と信楽高原鐵道」

信楽高原鐵道 神山 敬介

#### ■ 学園レポート

- ・「野外活動」の思い出

Page 4

#### ■ イベントのお知らせ

- ・演劇発表会「歌声に想いを乗せて」

#### ■ 物品受領簿

#### ■ 編集後記

## Endurance makes you stronger

### ごあいさつ

## 「継続は力」

日 頃から学園の運営に格別なご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げると共に、本年もより一層のご支援を賜りますよう園生・職員一同心よりお願い申し上げます。

さて、昨年も天災の多い年でした。広島市や福知山市での大水害、御嶽山の大噴火等々、多くの方が犠牲になっておられます。

一昨年度は、滋賀県も水害により多くの市町に影響があり、学園を含めこの信楽の町も、大変な被害に遭いました。学園では床上浸水して、初めて非常食を使っての1日を過ごしました。また信楽高原鐵道は鉄橋が流され、1年以上列車が止まり、学園生も週末帰宅は代行バスを利用していましたが、昨年11月29日にやっと復興致しました。

これに先駆け高原鐵道では、7月から学園の汽車土瓶と近江茶（信楽朝宮のお茶）を高原鐵道と地場産業の復活にかけセットで販売しています。びわ湖汽船でもこの夏限定の企画として、学園の汽車土瓶を使って頂きました。その他、JR東海のリニア・鉄道館（名古屋市）でも販売を手掛けて貰っています。

これら多くの方々の協力によって汽車土瓶を作っていますが、このことを今回マスメディアに取り上げて頂きました。学園生はこの反響を「自分達のやっていることが社会で評価されている」と喜び、意欲的に取り組んでいます。

この汽車土瓶は信楽が発祥の地で、学園も開園当初の昭和27年から製造してきました。多い時は、月産25,000個を作成していたと言われています。しかし、昭和40年代にポリ容器に変わり、製造を中断しました。それを復刻したのは、平成20年に来園された1人の学芸員の方の汽車土瓶に対する郷愁からですが、その年の秋、JRのSL北びわ湖号のイベントに使ってもらいました。この時もマスメディアが取り上げてくれ、地域の反響が後押しとなり、職員・園生共々自信に繋がったようです。

このような先輩方の復刻への強い思いを、職員は大切に考えてきました。

窯業の斜陽化により、信楽の町も以前のような活気が無くなってきました。学園の工場設備も老朽化しており、「学園のあり方」を問われています。

しかし、学園が62年間一貫して進めてきた「生産教育」は、『粘土を材料として、商品価値のある物を作り、これを地域において評価してもらうこと』であり、また『工場生産方式による工程は、作業内容が分かりやすく訓練効果としても期待が持て



る』と言うものもあります。これらを通じて学園生のやりがいと達成感を追求してきました。学園の作っている『汽車土瓶』や『かわらけ』、『ぐいのみ』、『植木鉢』等々の製品を住民の皆さんが注文して頂くことで、学園生は意欲的にやりがいを持って仕事を取り組んでいます。

我々職員は、過去にすがっていては新たな発想は生まれきませんが、「過去は未来を示す羅針盤」とも言われています。私は池田太郎氏の唱えられた「ふれる・しみい・わびる教育」を指導の指針として再考することこそ、学園に求められるミッションではないかと思っています。

今後とも皆さま方の声援をよろしくお願ひします。

信楽学園園長 後藤 富夫

## 学園レポート

# 社会見学

1・2年  
園生の

今年度の社会見学は、会社で働く意味を知る目的で1・2年園生が2班に分かれて「株式会社カルビーイートーク」と「ささやか系ダイニングがむしゃら」へ出かけました。

**初**めての社会見学に緊張する子もいましたが「カルビーイートーク」では北村社長に働き続けることの大変なことを教えて頂き、皆さん真剣に話を聞くことが出来ました。

お話のあとには工場の見学をさせて頂き、学園の先輩方の働いている姿を見て、それぞれ思うこともあったと思います。その後、『箱を組み立て、その箱に袋に入ったお菓子を入れて、閉じる』作業を体験させて頂きました。実際行っている作業の一つで、みなさん手際よく上手にされていました。



**昼**食は、A型事業所である「がむしやら」でカレーバイキングの食事をとりました。とてもおいしいカレーでたくさんおかわりをして、デザートも楽しみました。

1・2年園生にとって、自分たちの今後を考えるとても大事な1日になったと思います。



## 学園レポート

# 朝日寮 ってこんなところ

**信**楽学園の前面道路に面した白い壁、緑色の屋根の建物が朝日寮です。この寮は自活訓練を目的とする男子寮で、現在13名の児童が在籍しています。

将来の自立した生活を見据えた訓練の場ですから、掃除、洗濯を始め、身の回りの事は自分でしなければなりませんし、寮内の掃除や朝・夕のご飯炊き（炊飯のみ）。時には失敗もありますがご愛敬です）、配膳も当番を決めて自分たちで行っています。

それぞれが寮内の役割を果たしながら、日中の園内作業や町内実習に参加しているのです。町内実習生の中には、実習開始時間に合わせ、他の児童よりも早く朝食を摂らなければならない場合もありますが、必ず自分の当番を行ってから実習に出かけています。

**冬**場になると帰りは暗くなっていますし、実習で疲れていても当番のある日は役割を果たさなければなりません（訓練とは言え、職員の目から見ても本当に頑張っていると思います）。

この様に、将来の社会生活に向けて自分の責任（役割や作業・実習など）を果たした上で、限られた余暇時間を翌日に影響しない程度に楽しんでおられます。現在の朝日寮は、3年目児童の就職活動など、進路に向けての動きも活発となり落ち着かない日々が続いているが、全員が前向きに取り組んでいます。



## イベントレポート

# Ceramic Art Market in 陶芸の森

今回も「セラミックアートマーケット in 陶芸の森」に出店しました。 今回は台風の影響で10月11日・12日の二日間の開催となり、天候も心配されていましたが、開催された二日間は雨も降ることなく、たくさんのお客様に来ていただきました。

そして今回も数名の園生が売り子さんとなり、「いかがですかー！」「いらっしゃいませー」と元気な声で学園のブースを賑わせてくれました。



また、前日にテレビで紹介されたこともあり、お客様からも「テレビ観たよ！すごいねー」と沢山の方が商品を手に取り、園生に声を掛けて下さいました。

初めは緊張した様子の子ども達もいつの間にかすっかり様になり、笑顔で対応する姿はとても活き活きしていました。

「来年も絶対出たい！」「こんなのが作って売ってみたい！」早速そんな声も聞こえています。自分の作った物が売れていく喜びを感じ、やる気もやりがいも感じることのできた良い経験となったのではないでしょうか。次回もお楽しみに！

**関連サイト** 信楽セラミックアート・マーケット  
<http://www.sccp.jp/park/market/>

**春、ドキドキ**

しながら学園に着任し、子どもたちにたくさんのこと教えてもらひながら毎日を過ごすうちに、すっかり秋になりました。

半年が過ぎました。

日々、色々な出来事がありますが、子ども自身も何事にも自分らしく向き合っているなと思い、いつも支援にあたっています。どんどん成長していく子どもたちとこれが

様々な思いを共有し、一緒に経験を重ねていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

菅野寛子

## 学園フレッシュさん

### 4月の頃よりは、

一人一人の園生のことを考えたり

悩んだりする余裕が、ほんの少しずつですが  
うまれてきたように感じます。

先輩職員さんの支援に対しての思いや考えを  
聞かせてもらうことがとても勉強になっています。

そしてなにより園生の笑顔！

卒園しても、こうして笑顔でいてほしい、  
そのために今私にはなにができるかな～と  
考える毎日です。一緒に悩んだり笑ったりしながら、  
これからどんどん成長していきたいと  
思っています。

板鼻ゆき

from  
New  
Faces



▲写真左から菅野寛子・新木優里菜・板鼻ゆき

地元の皆様から

# Collaborate with Shigaraki Kohgen Railway

## 信楽学園の汽車土瓶と信楽高原鐵道

**信** 楽線は開通して80年が経過し、地域に愛され続けていた鉄道であると感謝するとともに、これからも愛され続ける鉄道として何ができるのか・・・と試行錯誤をしていました。

そんな時に地域をPRできるものはないか、鉄道をPRできるものはないかとの想いから、信楽学園で約5年前に復刻をされ、信楽高原鐵道も企画切符として販売をさせて頂いた汽車土瓶を、鉄道グッズとして再復活させようと企画しました。

コンセプトとして“信楽づくし”を掲げ、信楽学園で製作した信楽焼の汽車土瓶を信楽駅で販売できればと、相談させて頂きました。

**汽** 車土瓶に配する文字やロゴの大きさ、汽車土瓶の色など試作の段階から、信楽のお茶の同梱方法までも検討して頂きました。

また、何よりも生徒様が一生懸命に汽車土瓶を製作されている姿を見て、必ず良いものが出来上がると確信しました。

“信楽学園”で製作した“信楽焼”的汽車土瓶に“信楽のお茶”を同梱して、“信楽駅”で“信楽高原鐵道”が販売する、まさに“信楽づくし”的汽車土瓶が完成し、販売を開始した反響は大きく、販売開始からわずか20日余りで100個が完売するという大盛況でした。

**後** に先生から、「うちの生徒がすごく喜んでいて励みになる」とお聞きし、汽車土瓶を企画できて本当に良かったと反対に感謝している次第です。

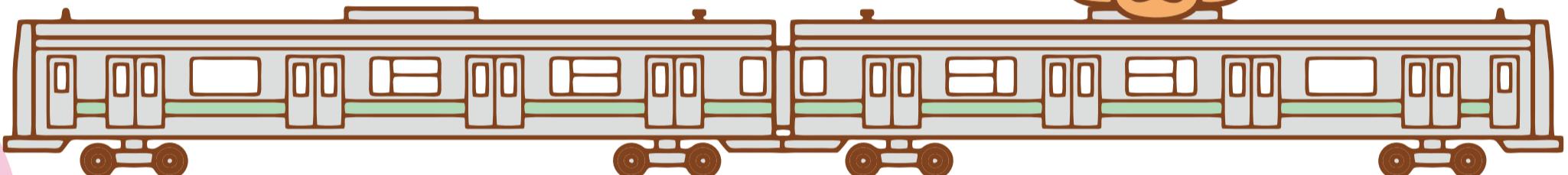
これからも信楽学園や地域と鉄道がコラボし、魅力のある“信楽”を発信していかなければと思う今日この頃です。

信楽高原鐵道株式会社  
総務部 神山 敬介



関連サイト

信楽高原鐵道株式会社  
<http://koka-skr.co.jp>



### 学園レポート

## 野外活動の思い出

平成26年8月5・6日に実施しました。今年度は鳥取県の大山へのチャレンジでしたが、台風の為、登ることは出来ませんでしたが、バーベキューとキャンプファイヤーを楽しみました。



ネ ブクロに初めて入りました。  
とてもへんなかんじがしました。



**台** 風が近くにあったので不安を持ちながら滋賀県から鳥取県まで約4時間かけてつきました。その日の夜のバーベキューはおいしかったです。  
キャンプファイヤーは自治会と神山寮、山手寮で出し物をしました。就寝するときに雨がふってきてねむれませんでした。次の日、風と雨がふってきて嵐になってしまった。登山は中止になりました。来年は最後なのでぜひ登りたいです。



**登** 山にいきました。登山に行こうとしたのですが、警報が出て、結局登れませんでした。でも、キャンプファイヤーは出来ました。キャンプファイヤーだけでも出来てよかったです。入浴施設に行き、昼食もいただき、バスにも乗れてよかったです。最後の登山楽しめられました。

**A** バーベキューの準備をしたあとに、火おこしが得意だったので、AパーティとBパーティの火おこしをしました。



# 「歌声に想いを乗せて」

2015年2月22日(日) 14:00開演(13:00開場)

滋賀県立 陶芸の森 信楽ホール 入場無料

【出演】信楽学園園生・劇団しがらき(信楽通勤寮OB)

【主催】滋賀県立信楽学園

## イベントのお知らせ

### 今年度の演劇発表会は 歌声に想いを乗せて♪

**子** どもたちが一丸となって行う一年に一度の大きな行事である演劇発表会もあと一ヶ月を切り、本番に向けて練習もいよいよ本格的になってきました。

復活!  
信楽高原鐵道  
帰ってきた  
汽車土瓶!

地域に愛され続ける信楽高原鐵道。

一昨年の台風で大きな被害を受け運休が続いていましたが、昨年11月約一年ぶりに運行を再開しました。待ちに待った再開に伴いテレビやラジオ、新聞でも大きく取り上げられました。そして信楽学園で作られている汽車土瓶が信楽駅でも販売がスタート。汽車土瓶もテレビや新聞で紹介され、記者やカメラを前に学園の子ども達も、自分たちが作っているものがこんなにも注目されているんだ!!と胸を躍らせていました。

今年の演劇発表会はそんな嬉しい出来事からストーリーが始まります。

今、注目を浴びている汽車土瓶はその昔どう作られ始めたのか・・ちょっと昔に戻って、信楽学園を覗いてみてください。そして現在の信楽学園にどう繋がっていくのか・・・

今年の演劇ではみんなで合唱をします。現在猛練習中!!

個々で持った力を大切にしながら、みんなで何かをやり遂げるという想いは今も昔も変わらず、日々を力一杯生きる彼ら彼女らの姿をぜひご覧ください。  
みなさまのご来場をお待ちしております。

平成26年度 演劇発表会 「歌声に想いを乗せて」

日時 ■ 2月22日(日) 14:00 開演(13:00 開場)

会場 ■ 滋賀県立 陶芸の森 信楽ホール 【入場無料】

出演 ■ 信楽学園園生・学園職員OB・劇団しがらき(信楽通勤寮OB)

関連サイト 滋賀県立陶芸の森 <http://www.sccp.jp>

## 物品受領簿

前年度(平成25年度)の物品受領明細です。皆様のあたたかいご厚意に感謝いたします。

受領年月日	物品名	数量	寄贈者(敬称略)
24.04.11	パナソニック 42型 TV	1台	財河本文教福祉振興会
25.06.04	寄付金	100,000円	ファイナンシャル協会
25.06.27	寄付金	10,000円	安曇野市民生児童員 南穂高・高家地区会
25.09.29	うるち米・餅米	30kg×2袋、30kg×1袋	江友会
25.10.25	ポテトチップス	3箱	(株)カルビー イートーク
25.12.03	みかん	2箱	加藤製陶
25.12.06	寄付金	100,000円	信楽町 仏教連合 婦人会
//	タオル	150枚	//
25.12.11	寄付金	50,000円	TOTO UNION
25.12.18	ケーキ	7個	国際ソロブチミスト甲賀
25.12.20	餅米	10kg	江田・神山地区民生委員児童委員 協議会
25.12.20	野菜(大根・キャベツ・白菜・人参)	各100個	タキイ研究農場
25.12.24	ショーキーリム	44個	職親会
25.12.26	自然薯	5本	マックスファーム(ホワイトマックス)
26.01.07	鏡餅・もち・小豆・砂糖	鏡餅・もち15kg・小豆2kg・砂糖1kg	真徳寺
26.01.17	祝い金	5,000円	信楽青年寮
26.01.17	祝い金	5,000円	ワークセンター紫香楽
26.01.17	祝い金	5,000円	神山区
26.02.13	お菓子	2箱	KEIZ・アピタ伊賀上野店
26.02.16	祝い金	10,000円	職親会
26.02.16	祝い金	5,000円	北村信雄
26.02.16	祝い金	5,000円	北村哲哉
26.03.11	白米	30kg	加藤製陶
26.03.28	寄付金	30,000円	大津ゾンタクラブ

## 編集後記

### Thank you for reading

**今** 年度も残すところあと2ヶ月となりました。学園だよりを編集しながら、月日がたつのは本当に早いものだと改めて感じています。

学園の子どもたちは、いろいろな行事や工場での作業、また、町内企業への実習など毎日の学園生活の中で成長してきました。

この後の演劇発表会や卒園式などでそのすばらしい姿を見せてくれることと思います。

寒さはまだまだ厳しいですが、この学園だよりが、ほんの少しだけでも皆さんの寒さを和らげる、あたたかい風がお届けできれば幸いです。

ニュースレター編集スタッフ一同



## 信楽学園 ニューズレター Vol.2

Newsletter from Shigaraki Gakuen

編集・発行 ■ 社会福祉法人グロー

 www.glow.or.jp

滋賀県立信楽学園

〒529-1812 滋賀県甲賀市信楽町神山470

☎0748-82-0051 / email : s-gakuen@galaxy.ocn.ne.jp

構成デザイン ■ 上垣 智史 / mdf design